

マイトーク

MY TALK

発行：中央大学放送研究会OB会(会長／若尾英樹)

住所：〒192-0351 東京都八王子市東中野742-1 中央大学放送研究会気付

発行日：2017年(平成29年)4月

第17号

放送研究会OB会を学員会支部に登録

登録名称 白門放送研究会

OB会長 若尾 英樹 (12期)

平成二十七年度のOB会総会で決まりました中央大学学員会への登録を二八年三月に申請し、四月に承認されました。五月二〇日の「平成二八年学員会総会」で新設支部への支部旗贈呈式があり、白門放送研究会支部と名入りの大きな支部旗を受領。六月三〇日には学員会登録補助金十五万円を頂きました。



【周年行事とOB会総会】当初OB会は、任意に五年ごとの周年行事を開催してまいりました。しかし、五年ごとの周年行事だけでは在学中に一度もOB会行事を知らないまま卒業してしまう会員も存在するようになります。またOBも多くなり、健全な運営を実施するため、平成四年の四十周年行事とともに会則・名簿の

整理を行い第一回総会を開催し、中央大学常任理事水上虎馬雄会長のもと正式にOB会活動を開始いたしました。

初めは三年毎の総会でしたが、五年毎の周年行事とバランスをとるため記念行事のときに総会を同時に行いその二年後に総会を実施することになり現在に至っています。

今年九月九日に品川プリンスホテルで第十回総会と六五周年記念行事を同時開催致します。

改めて詳細のご連絡をしますので、今まで出席したことがない方も、同期の方々のご出席いただけるよう心待ちにしております。

中央大学放送研究会OB会の周年行事と総会

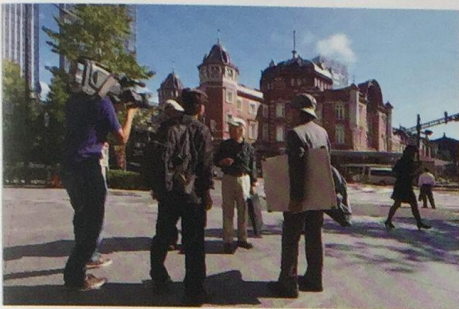
西暦	平成	月日	場所	放研周年行事	OB会総会
1992	4	11月14日	駿台	40周年	設立総会
1995	7	7月22日	駿台		第2回総会
1997	9			45周年を1年先送り	
1998	10	7月25日	京王	45周年	第3回
2001	13				第4回を1年先送り
2002	14	8月3日	京王	50周年	第4回
2004	16	7月17日	品川		第5回
2007	19	8月4日	ANA	55周年	第6回
2010	22	7月31日	品川		第7回
2012	24	9月8日	品川	60周年	第8回
2015	27	9月4日	品川		第9回
2017	29	(9月9日)	(品川)	(65周年)	(第10回)

※駿台=中央大学駿河台記念館 京王=京王プラザホテル
ANA=ANAインターコンチネンタルホテル 品川=品川プリンスホテル





「新装なった東京駅」(個展の絵葉書)



BSフジ「ガリレオX」撮影風景(中央が先輩)



個展会場で幸子夫人と桃川先輩

をスケッチする会」を発足させ同様の取組みを行っています。また、2003年には、地元で「日立をスケッチする会」を発足させ同様の取組みを行っています。また、2003年には、地元で「日立をスケッチする会」を発足させ同様の取組みを行っています。

2月2日に放研OBの有志が相集い今回の個展を訪れました。画廊一杯に

今後の益々のご活躍をお祈りします。



懇親会は、新潟料理「越州」で

岡村先輩が「スケッチ展」を開催

砂岡 茂明 (12期)

2017年1月30日から、東京・京橋のドウヘドゥ(Doxx)画廊でこれまで描きためた作品の一部60点あまりを展示した第1回の個展が開催されました。

放研5期の岡村先輩は、在会中は文芸部に所属し、精力的に脚本を書いておられました。ポスター制作にも熱心に取組んでいました。

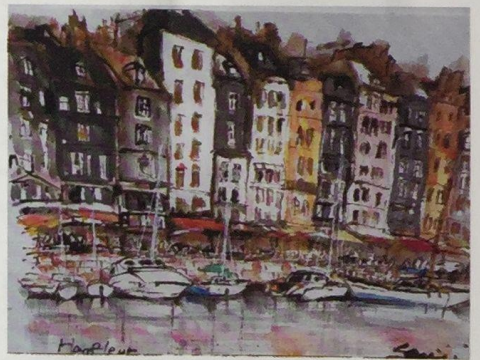
卒業後日立製作所に入社。小さい頃から絵を描くのが好きだった先輩は、定年を待たずにデッサンの勉強を始めました。モチーフは奥様の幸子さん(放研同期・旧姓坂田さん)が丹精して育てていた四季折々の庭の草花だそうです。花の優しさや曲線の美的表現に試行錯誤したのが、今日のスケッチ画の基礎になったようです。先輩は感動した風景をいかに

ペンの線で表現するか今でも試行錯誤していると聞いています。その後、微妙な線を表現するため、竹、葎、割り箸など色々な素材を試み、インクもセピア色に黒色を混ぜたり、青色を混ぜたりして、線の強弱、優しさを描いています。

2001年に、NPO法人「東京を描く市民の会」に入会し、役員として写生会や作品展覧会などの事業に参画し、歴史的建造物や美しい都市景観などの大切さを描いています。また、2003年には、地元で「日立をスケッチする会」を発足させ同様の取組みを行っています。



「パリ サクレクール寺院への道」



「オンフルール港のヨット」



「モンパルナスのビル群」

展示された作品は、フランス、ドイツ、イタリア等の歴史的な建造物、東京の風景、人物等多岐に渡っていました。繊細な線の表現や色使いの奥深さに見とれてしまいました。会場では、幸子夫人も来場者の応対に追われていらっしゃいました。

個展鑑賞後は、岡村先輩を囲んで、懇親会で盛り上がりました。

懇親会は、新潟料理「越州」で

昭和三十三年四月、仲間よりひと月遅れて無事大学を卒業する事が出来た。時の大臣、菅原通済大臣による【買春禁止法案】が施行された日だ。私はよくOB仲間と飲みに行くニッカバーを後に、酔いを覚ます為、従兄と肩を組みながらネオン瞬く新宿駅前を右手に歩き始めた。都電が走る中、その先を進むごとに辺りは薄暗くなり、話には聞いていた有名な花町に足を踏み入れてしまった。

気が付いた時には既に女性に腕を取られ、引き込まれ、狭い階段を這いつくばりながら二階の小部屋に上がった。狭い部屋は意外と小綺麗にされていたが何故か机の上に置かれた鏡が部屋にそぐわなく立派な物だった。時刻も真夜中を過ぎてしまい何

人かの客をとった後なのかも知れないが、彼女は私のコートを脱がせるとお茶を入れてくれた。酔い覚めの薬として効くのであるうか。放研芸芸部に在籍、方々に取材の経験をしたものだがこの花街は潔癖な青年としては避けてきた路だった。専攻学科が近

世文学で有名な暉峻康隆教授の教えを受け【元禄】華やかに興味をそそられたのだが、退廃的な、その奥底深い思いには畏敬の念と言うか恐ろしさをも感じてしまった。そんな事が頭をよぎる中、女性は早く事を済ませたいので有ろうか、ベルトに手をかけはじめた。どうして良いのか判らないまま、されるがまま身を委ねていたのである。然し真冬の中、気持ちも、雰囲気も身体が火照るような感覚はなく、大学時代専攻の【犯罪心理学】や【近世文学】のフラッシュメモリーが駆け巡り、その気にもならず、気持ちが益々萎えていく自分に情けなさを感じた。

昭和懺悔録

黒沢 健 (6期)

学都、御茶ノ水のニコライ堂を拝して、周りには明治大学・日本大学等が建ち並び、その合間に沢山の木屋が軒を並べ、学生相手のラーメン屋・音楽喫茶・歌声喫茶・楽器店等が活気を呈していた。十月末頃よりデコレーションケーキ作りに数人のクラブ員と共にアルバイトに出かけ、勿論教室はサボリ、毎日通い始めた。流れ作業で出来上がった沢山のケーキを冷え切った室内に山盛り積み上げて保管したものだ。出来上がった美しく生クリームで飾られたクリスマスケーキを、それからは食べる気にならなくなった。「美しい物には毒が有る」と毒は入っていないが昔の人は素晴らしい表現をするものだと思った。

卒業時、不況下の昭和三十三年、幸運にも二名採用の映画会社に入社。新卒で何故か女性とは縁が無く又モチないまま童貞を守り続け、無茶苦茶働いた。帰宅は殆ど午後十時以降だが、下宿先は、有名レコード会社専属の作曲家宅で、歌手、作詞家等・又小生が勤めていた会社の芸能プロダクション仲間が夜遅くまで訪ね、四六時中皆さんで麻雀をし、随分迷惑を掛けたものだ。しかし其処では、博打嫌いな小生は、麻雀には加わらず、皆さんの料理係として作曲家の奥さんの料理のお手伝いをしたものだ。昼夜、働きずくめの生活が続く中、益々多忙を極め、東北六県、各映画館を巡る自社映画の宣伝・営業に精を出し、年の瀬、過労で肺炎を患う羽目になった。下宿先の奥さんが婦長をしている病院へ急遽入院。今では何の弾みでそうなった

のか判らないが、彼女に対して身内から溢れる情熱を抑えることが出来なく、自然に男女の中に進んで行った。

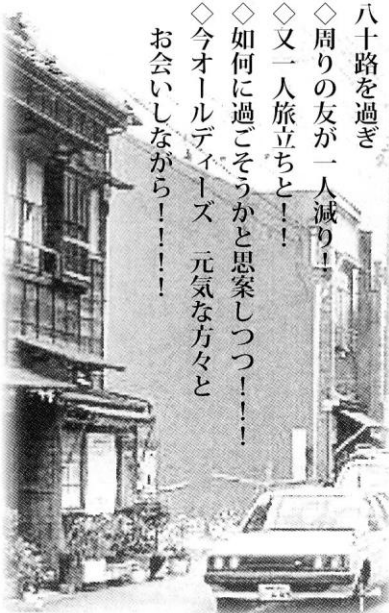
婦長の奥さんの介護の元約一か月をかけて退院するも今迄の職場では又身体の不調が心配され、当時、江崎ダイオードが発明されコンピュータの開発時期となりアメリカのコンピューター会社に転職。自動車会社の手形管理・工程管理・給料計算のシステムエンジニア職を押し大手企業の合理化対策に身を挺した。

そんなある日、下宿先の作曲家が、多くの芸能人に見送られこの世を逝っていった。残された奥さんは、当時自身の小生の将来を案じて、婦長の職を振り切つて、裏日本実家に身をふせてしまった。小生も、彼女に対する募る思いを振り切り、新しい気持ちで仕事に励んだ。

あれから五十年、会社経営・私生活と、あらゆる辛苦を乗り越え夫婦で築いた日々を振り返る今日この頃である。誰が言ったか判らないが、【人生とは一人で生きられない】。又【二人で共に生きていく事】も大変で有る。しかし人生、一歩玄関を出ると何が起こるか判らない不思議な世界でもある。

楽しいことも有れば、悲しいことも。苦しいことも。

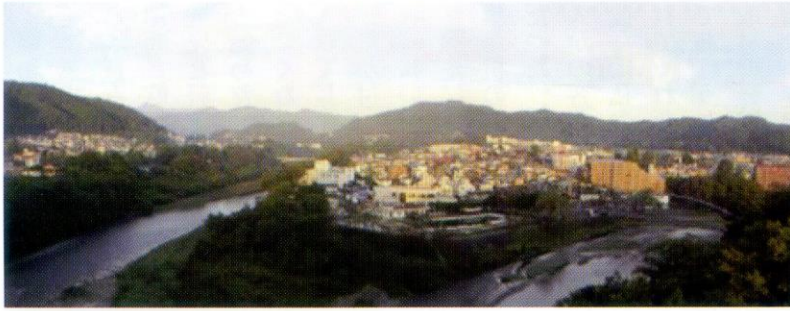
- ◇八十路を過ぎ
- ◇周りの友が一人減り!
- ◇又一人旅立ちと!!
- ◇如何に過ごそうかと思索しつつ!!!
- ◇今オールデイズ 元気な方々と
- ◇お会いしながら!!!!



放研卒五十年・ホームカミングデー二十五回目の節目が来て

浅見 一策 (14期)

毎年続けてきた同期の親睦旅行、昨年は大阪に行こうと話していたが、前の年の秋十四期の貴重なムードメーカー、有りちゃんこと有福君が亡くなってしまい、ぽっかり穴が開いたような気分になっていた。そのせいか今年はやめようかということになったのだけれど、この年我期は卒業後五十年の節目の年でもあった。学員会主催のホームカミングデーも二十五回目を迎えて案内状も送られてきてい



た。幹事の長谷部君から八王子の本校に行こうの声がかかり、それではせっかくだからみんなに連絡してみるかということになり、早速、旅行に緻密な能力を発揮する津曲君に相談、学校主催のホームカミング五校地をめぐるバスツアーに参加、夜は八王子近辺で一泊して宴会、翌日は電車移動で新宿に出て昼食会を開き新宿御苑を散策のプランがまとまった。

同期は関東から西へ中部、関西、中国、四国に居住する、どういうわけか東北、北陸、北海道組はいない。天気図で言うと西高東低型だ、それは余談として、参加者が十六名にもなったのは、皆な過ぎし日のあの頃への郷愁の念だったのだろうか。

十月二十二日文京区春日の理工学部キャンパスをバス三台で出発、駿河台の記念館、市谷校舎、防衛省隣りの四谷校舎を見学、ここで見た模擬法廷の造作は立派だった。日頃もこれからも縁がなくて済みたい法廷は一見の価値があった。八王子の校舎までは、放研アナウンス部の諸君ではなくアナウンス研究会の学生がガイド役で添乗していた。将来アナウンサーを目指している面々だそうである。OBとしては一抹の寂しさも味わうことになった。

数十年前ぶりに広げて静かな本校に立つと、マンモス大学の先陣を切って一極集中の都心から理想の学園都市を目指したに違いない先達方の願いはわかるけれど、未だオーラが沸きあがるように感じられない、と思うのは自分の一人よがりなのだろうか。現在、某損保会社の本社になっている駿河台本館だけは買戻すなんてことは出来ないだろうかと、ニコライ堂、聖橋、湯島の聖堂、駿河台下の本屋街、あまりにも宝の山の真ん中にすぎたのかもしれない……。

その夜の懇親会場は青梅の簡保の宿、多摩川をはさんだ高台から青梅の市街が一望のところにあった。気の知れた仲間内、いつものとおり和やかに過ぎていっ

たのであったが、翌朝予想もつかないハプニングがの下で起こった。犬の吠える声、何発かの銃声、パトカーのサイレン、ヒグマが二頭あらわれたのである。夜ニュースで報じられていたけれど、人家も多くてなところに見れるのかと驚きもした。



上段 熊、出没の簡保の宿から見る多摩川と青梅市街
中段 随園別館での昼食会

そんな青梅を後に中央線で新宿に、日曜の昼の新十数人も予約もしないで昼食会？そんな店取れるわれないぞと、この日参加するテレ朝のドン早河君が前の中華レストランをリザーブしておいてくれた。これも、これから散策する予定の新宿御苑だ。こゝう気配りは学生のころからあったのだろう。おかげ中段の写真のような賑やかな集まりになった。

伊藤君(広島)、榎崎君(岡山)、中村君(京都)、木川松永君(静岡)、荒井君、橋詰君(神奈川)、小田切(山梨)、津曲君夫妻(千葉)、金子君、中永君、長谷部原君、早河君(東京)、筆者(埼玉)、の一六名。五十年、新宿御苑も良く晴れて、素晴らしいひとと

現役から

放研の活動状況

委員長 千田 裕貴 (67期)

【中央大学放送研究会の編成】

放送研究会は現在、1年生(68期)が26名、2年生(67期)が19名、3年生(66期)が26名、4年生(65期)が16名の計87名が所属しています。2016年12月の冬の番組発表会で66期までが引退し、今では67期と68期が中心となって活動しています。

会員はそれぞれ番組発表会に向けて映像、音響、会場、照明、TK(タイムキーパー)の5つの班に分けられます。映像班は番組発表会において映像を流したり、カメラでステージを映し出し、音響班はステージマイク、会場BGMなどのすべての音の管理を行います。この2つの班が中心となり番組発表会を進行します。もちろん残りの班も無くてはならない存在です。会場班は接客や案内、会場装飾、コメントシートの管理を行い、照明班は会場照明、ステージ照明の管理をします。会場班と照明班によって会場の雰囲気を作り出されます。



2016年 夏合宿の様子

放送研究会は春夏冬に開かれる番組発表会を中心に活動しています。さらに公式の合宿が春と夏に行われ、夏の合宿では毎年沖縄で過ごし、各代の交流を深めています。また中大放研の番組発表会は他大学からの評価も高く、たくさんの方々に来場していただいております。中大放研の強みともいえる映像と舞台の融合を目標に日々の創作活動に励んでいますので、4月23日に行われる春の番組発表会にも足を運んでいただければ幸いです。

そして忘れてはならないのがTK班です。番組発表会のすべての時間を司り、進行をスムーズに行います。おそらく番組発表会中においては番長(番組発表会実行委員長)よりもはるかに権力を握っており、何人たりとも逆らうことは許されません。

【年間活動状況】

- 3月 卒業番組発表会、卒業コンパ、後期納会
- 4月 春の番組発表会
- 5月 基礎ゼミ(新入生指導期間)、新歓合宿
- 6月 基礎ゼミ
- 7月 プチ番組発表会(身内向け)、前期納会
- 8月 夏の番組発表会(9月第1週の場合もあります)
- 9月 夏合宿
- 10月 DJ職人(身内向け番組発表会)
- 11月 白門祭(秋の番組発表会)
- 12月 冬の番組発表会
- 1月 箱根駅伝の撮影
- 2月 没番組発表会(身内向け)

放送研究会は春夏冬に開かれる番組発表会を中心に活動しています。さらに公式の合宿が春と夏に行われ、夏の合宿では毎年沖縄で過ごし、各代の交流を深めています。また中大放研の番組発表会は他大学からの評価も高く、たくさんの方々に来場していただいております。中大放研の強みともいえる映像と舞台の融合を目標に日々の創作活動に励んでいますので、4月23日に行われる春の番組発表会にも足を運んでいただければ幸いです。

【学外活動】



2016年 冬の番組発表会

地域のラジオ放送局の枠をいただいて1時間の送をさせていただいております。一つは調布R(83.8MHz)で毎週水曜日22時~23時に「調の味噌汁CHK風味」というタイトルで大学生らに溢れる、比較的自由な放送をさせていただいて、もう一つはエフエム茶笛(77.7MHz)で土曜の23時~24時に「セントラルZoo」というタイトルで放送しています。こちらも自由にトークを繰り広げていますが、毎回OPトークでは埼玉県周辺のおめスポットを紹介しているのでは是非聞いてみてください。埼玉県に行ったことがない方はもちろん、埼玉民の方には新たな埼玉の魅力の再発見につながるかもしれません。調布FMは毎週水曜日に放送していますが、エフエム茶笛はおよそ月1回の放送なので放送の確認は中央大学放送研究会のホームページまたはTwitterで確認ください。

北京・キャスター・孫七人

鈴木 正勝（6期）

「北京・キャスター・孫七人」



これは、十年ほど前まで使っていた私の自己紹介用のキャッチコピーです。

私は、昭和十六年七月、

北京の日本人租界で生まれました。いわゆる中国からの引揚者です。

愛知県の豊橋で育ち、昭和三十九年中央大学を卒業後、大阪の関西テレビへアナウンサーとして入社。若い頃は歌謡曲や、寄席番組を担当していました。古賀政男・吉田正・服部良一・星野哲郎この程文化勲章に輝いた船村徹さん達をホストに私がアシスタントで司会をしていました。（昭和の演歌、歌謡曲ならカラオケで唄えます）

三十歳を過ぎた頃から、そろそろ自分が柱になる番組を持ちたいと報道アナを目指し、自分で取材し、原稿を書く修行をしました。

雌伏七年、三十七歳でやっと夕方のニュース番組のキャスターに登用され、以後十二年間、関西のお茶の間の顔？？として頑張りました。

私は二十五歳で結婚、子供は三人。孫は七人います。総領孫は中央大学理工学部をこの春卒業します。我が家では私、長男、孫の三世代が中大という中央一家です。

「母校愛」という言葉があれば、これも一つの母校を愛する気持ちの表現です。「もう一人、中大に進学する孫がいらないかな」と秘かに期待し、後期

高齢者のシルバードを歩いています。最後に、現在の私は、民間放送に在籍した人たちの親睦団体民放クラブの関西の理事長を務めています。同業で、まだ各地の民放クラブに入っていない方はいらっしゃらない方は是非ご加入ください。

【経歴】

昭和三十九年 中央大学法学部卒

関西テレビ入社

現在、関西民放クラブ理事長

大阪府立東住吉高校非常勤講師（放送担当）

12期 古田島君と菊地君のこと。

砂岡 茂明（12期）

同期の二人が相次いで鬼籍に入った。2015年11月新潟・新発田の古田島君、2016年7月秋田・大館の菊地君の二人だ。共に、現役時代は、劇団部所属であった。

古田島君は、飄々とした古武士の風格があり、マイクの前に座るよりは、ジャン卓の前で盲牌する姿が実にサマになっていた。癌の病魔に襲われたのを知ったのは、2014年9月に大津で開催



後列左から 古田島、河岡、砂岡、安藤
前列左から

された10期、12期の合同同期会への欠席連絡であった。いつもと変わらぬ声で、「ちよつと大きな手紙になるので、今回は欠席する」と淡々とした電話があった。その後、術後が芳しくないとの知らせに取り敢えず見舞いに行こうと思いい立ち、船橋在住の河口君と上越新幹線に乗り、新潟駅で安藤君と合流し、彼の愛車で新発田へ向かった。古田島君は、4重は激減していたが、地元でのコーラスや卓球サークルの活動、高校の同級生との飲み会やカラオケ等の近況を元気に語ってくれた。次回の同期会での再会を約して別れたのが最後になってしまった。夜の郊外の月岡温泉で、技術部トリオ（安藤、河岡、砂岡）が卒業以来初めて三人だけで旧交を温めることができたのは古田島君の引き合わせによるものと感謝している。

菊地君は、秋田の土建会社の長男で、稼業を継ぐため工学部土木工学科在籍であった。工学部はキンプスが離れていたこともあり、劇団部の活動に、殆ど参加していなかったが、無類のお酒好きで、気な良いお酒であった。

ある時、三畳間の彼の下宿を訪ねると、「良く来た



十和田湖で 右が菊池くん

『長谷川 敏君を偲んで』

横井 功 (劇団15期)

長谷川 敏は劇団15期だろう、とご存知の会員諸氏は同期か、せいぜいすぐ上か下の期くらいではないか。

太縁眼鏡・獅子鼻、セカセカ歩き・マンガ本、新潟高校現役、両親・3人兄弟といったところが同部員として知った横顔だった。

アイツとは随分長い付き合いをさせてもらった。在学中は、会務は二の次、勉学は三の次で、同期その他を誘って専ら麻雀でいそがしかった。部室に行くのはメンバー探し、アイツが劇団で何をやったかは全く記憶がない。

麻雀のことならば、相撲取りの隣卓での徹マンとか、卒業式に徹夜明けでひどい顔のまま出たりしたこととか、いくつも思い浮かぶ。

卒業してからも、新潟雪中麻雀、結婚式イブ花

ととても歓迎してくれ、何処からか一升瓶を担いで来た。大切にしていたラジオを質にしてお金を工面していたことは後から知った。アルミの洗面器を鍋にして作ってくれた湯豆腐の記憶が鮮明に蘇ってくる。1968年に新潟の安藤君の結婚式に出席した帰路、具志君と菊地君を大館に訪ねた。紅葉真っ盛りの十和田奥入瀬渓谷を、ダンプカーで案内してくれた。

菊地君は、2012年にOB会費を6000円のところ、三期分の18000円を振込んでくれた。その折に若尾英樹君が確認の電話を入れると、これまでの滞納のお詫びもある、とのこと、今後の会費として預かることとした。会費の残額を残して逝ってしまった。お二人のご冥福をお祈りします。

嫁同伴麻雀、ゴルフやスキーの夜間麻雀とか幾多対戦したことを思い出す。そこには、アイツの親父やあちとこちの友人も加わり、いつも賑やかで笑いが絶えなかった。また、嫁・子連れで一度ならず実家にお邪魔してよくしてもらったりもした。実に穏やかで健やかな家族だった。記憶にもフोटにもたたくさんの場面が残っている。そんな付き合いも十数年で途絶えた。

以来消息のない年月の方がずっと長くなってしまった。どうしているのかずっと気になっていたが、昨年初めて知った。亡くなっていた。彼のいなくなったその後の事情を知って、二つの感慨をもった。

一つは、あいつのことを分かっていたなかつたのではないかとということだ。彼の全く屈託のない性格も、明る



筆者の結婚式にて、花嫁の右側が長谷川君、左から同期の高橋君、福田君

い健やかな日常も、思っていたようなあつけないとしたものではなかった。いろんな事情がても表に出さないようにしていたに過ぎなかののだということを知って、アイツの風貌に陰加わったような気がした。

二つめは、アイツの不在を実感したことだった。アイツは、卒業後新潟に帰り、銀行に就いた。その後、お堅い日常から実業の世界に飛び結果として苦労することとなってしまった。し、そのことを後悔せずに鬼籍に入ってしまったという。

翻って見ると、自分にはほとんど冒険するうことがなかった様な気がする。いろんな局決まって安全パイを切るように無難な道を選きた。そしてそうしながらいつもその裏でそめたことにいら立ったこともあった。アイツの見通せる生き方をよしとせず、選択し、ふん

て堅い生活を捨てたのだろうか。時は残れと反対したものだ。はそうは思わない。多分、あれ葛藤しつつもやろうと決めおしたことから思える。しささえ感じる。アイツを忘いようにしようと思っきた。昨年2月上旬、勝楽寺に詣きた。新潟らしくない晴天かい日だった。ずっとどうしるのか気になっていたが、最両親と弟の眠る寺に同居できかつたときづく思った。親父と古侯と待っててくれた卓を囲もう。

顧問 加賀美鐵雄さんを偲んで

OB会長 若尾英樹



加賀美OB会顧問が逝去されました。一昨年のOB会総会ではお元気でしたので一報を頂いた時は耳を疑いました。放研の会長を1993年4月〜2009年3月迄勤めて頂き、OB会顧問として2009年4月以降現在まで総会、周年行事、ゴルフ等々積極的にご出席頂いただけに残念でなりません。遺された写真で哀悼の意を表します。

編集後記

大自然の生命が一斉に芽吹く季節を迎えました。季節ごとに景色の変化を楽しむことができ、四季に恵まれている私たちですが、全国においでの方の皆様は

ホワイトボード

OBゴルフ部会・報告

(於 武蔵野ゴルフクラブ)

- ◆ 平成二十八年度はお陰様で三回開催できました。桜まだ間にあった
- ◆ 第38回 平成28年4月14日 (十六名参加)
優勝 塩沢邦男(9期)、2位 若尾英樹(12期)、3位 及川信行(12期)、梅雨の合間、恵まれて
- ◆ 第39回 平成28年7月13日 (十二名参加)
優勝 内田達哉(12期)、2位 齋藤 剛(15期)、3位 内山明雄(7期)、残念ながら九月雨天中止
- ◆ 師走、お疲れさん 笑顔で打ち止め
- ◆ 第40回 平成28年12月8日 (十三名参加)
優勝 及川信行(12期)、2位 大悟法安路(18期)、3位 榛葉 肇(4期)

計 報

如何お過ごしでしょうか。今回もマイトーク発刊に際し、皆様より多様な近況報告を頂きました事に御礼申し上げます、そして無事お届け出来ました事に一安心で御座います。今後も話題豊富な皆様の投稿を心よりお待ちしております。 (T・S)

前号でご報告して以降に把握できましたご逝去された方々で御座います。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

下斗米幸也	(9期)	2012年	(平成24年9月)
長谷川 敏	(15期)	2013年	(平成25年4月)
宇野 敏光	(10期)	2016年	(平成28年3月)
齋藤 進	(5期)	2016年	(平成28年7月)
菊地 博	(12期)	2016年	(平成28年7月)
近藤 治一	(2期)	2016年	(平成28年8月)
武居 克郎	(4期)	2016年	(平成28年11月)
加賀美鐵雄	(顧問)	2017年	(平成29年1月)

【平成27年度会計報告】

収入の部	金額
前期繰越金	1,344,023
OB 総会会費	891,000
寄付金	10,000
年会費	556,000
雑収入	173
合計	2,801,196

収出の部	金額
会議費	92,514
事務費	12,740
9回総会事業費	980,391
機関紙・名簿・CD制作	981,041
次期繰越金	734,510

【平成28年度会計報告】

収入の部	金額
前期繰越金	734,510
年会費	30,000
学員会補助金	150,000
学員会入会補助金	12,000
雑収入	7
合計	926,517

収出の部	金額
会議費	45,359
事務費	648
次期繰越金	880,510
合計	926,517

会計報告

平成27・28年度の会計につき、報告します。(担当：伴 信昭・18期)